

平成29年1月1日～平成29年12月31日の間に

当科もの忘れ外来において診療を受けられた方へ

—「認知症における社会的な生活障害の実態調査」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科

研究機関長 那須保友

研究責任者 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 准教授

岡山大学病院 精神科神経科

副科長 寺田整司

研究分担者 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 教授

岡山大学病院 精神科神経科

科長 山田了士

岡山大学病院 精神科神経科

助教 大島悦子

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学

院生 林 聡

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

認知症による障害は、三つの次元に分けることができます。まずは、記憶障害に代表される認知機能障害があり、次に、行動心理症状(Behavioral Psychological Symptoms of Dementia: BPSD)があり、さらに、それらに加えて、生活行為・動作における障害すなわち生活障害があります。この「認知症の生活障害」は、次のように定義されています。「認知症の人にみられ、それ故に個人的・家庭的活動と社会的参加を困難にする日常生活上の障害である」。認知機能障害とBPSDは生物学的な基盤を背景とした医学的視点であり、医療的介入を行う目的での整理となります。一方、認知症の当事者および御家族の苦悩という点に焦点を定めると、日常生活のさまざまな局面における「生活障害」こそが重要な課題です。

生活障害には、食事のとり方やトイレの使い方が分からない、あるいは、適切な着衣ができないなどと云った、家庭内での基本的な生活動作に関わる障害と、近隣との人間関係や金銭管理、契約といった社会性の高い生活障害とが含まれます。このような社会性の高い生活障害（仮に「高次生活障害」と名付けます）には、犯罪に巻き込まれること、金銭管理、契約、人間関係、医療・介護の導入など広範な問題が含まれています。

これまで、認知症における「生活障害」を検討する際には、基本的な生活動作に関連する研究や調査が多く、社会性生活障害に対する調査・研究は、あまり行われていません。問題点を明らかにして、当事者や御家族の方を支援するためには、まずは基本的な調査を行うことが必要です。認知症本人や家族が実際に苦悩しているのは、BPSDや中核症状というよりは、社会的な生活障害によるトラブル（生活支障）であり、その観点から現状を明らかにすることを目的として調査を行います。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

認知症に対しては、地域ぐるみの対応が重要であることが強調されています。社会的な生活障害は、地域での生活そのものであるにも関わらず、これまで注目されることが稀であった。その実態を明らかにし、対応への道程を明らかにすることで、厚生労働省策定の認知症施策推進総合戦略である新オレンジプランに示されている7つの柱のうちの5番目「認知症を含む高齢者に優しい地域づくりの推進」や7番目の「認知症の人やその家族の視点の重視」に即した基礎的資料を提供することが可能となる。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日の間に、岡山大学病院および共同研究機関を初診され、認知症に関する診療を受けられた方 200 名のうち、岡山大学病院精神科において診療を受けられた方 50 名を研究対象とします。

2) 研究期間

平成 28 年 11 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

3) 研究方法

岡山県および岡山市の認知症疾患医療センターを調査の場とします。新患患者を対象として、診察医に調査用紙への記入を依頼します。患者基本情報や認知機能、精神症状評価については、日常診療で取得されている範囲で情報を収集します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 主治医による質問紙アンケートへの記入（社会的生活障害の頻度と認知症重症度の評価）
資料 2, 資料 3
- ・ 年齢, 性別, 診断名, 服薬内容（向精神薬）
- ・ 認知機能検査, 精神症状評価, 日常生活機能評価のデータ

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学大学院 精神神経病態学教室で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究では、拒否機会終了後は、情報が全て匿名化されているため、個人情報の開示は出来ません。

なお、この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文、インターネットで発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成 30 年 1 月 31 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 精神科

氏名：寺田 整司

電話：086-235-7242（平日：9 時 00 分～16 時 30 分）

ファックス：086-235-7246